

第3回本明川ダム建設事業 環境影響評価技術検討委員会 議事要旨

日 時：平成21年1月27日（火）13:30～16:50

場 所：L&L ホテルセンリュウ 4F 陽光の間（諫早市）

主な意見

○ 大気環境、地形及び地質、景観、人と自然との触れ合い活動の場、歴史的文化的環境、廃棄物等についての予測、保全措置の検討結果について

【全般】

- ・ ダム事業による流況の変化についても、予測・評価するべきである。

【大気環境】

- ・ 降下ばいじんの予測計算については日単位で予測はできないのか。
- ・ 降下ばいじんの環境保全措置として散水した場合に、散水後の汚濁水の処理についてもしっかり対応すること。
- ・ 1 km²あたり月 20 t という数字は、一般的な感覚では分かりづらいため、日や時間単位等のわかりやすい単位にすること。
- ・ 環境基準以下だから何も対策をしないのではなく、環境負荷を低減するための配慮が必要である。
- ・ 騒音や振動等の予測計算式については、住民説明をする場合に十分信頼性のある経験式に基づいて実施している旨の説明が必要である。
- ・ 評価について分かりづらい文章となっているので訂正すること。
- ・ 騒音や振動について、学校等の重要な施設の周りや人家の周辺では車両の速度をできる限り抑える等の発生源対策が必要である。

【人と自然との触れ合い活動の場、歴史的文化的環境】

- ・ 事業実施区域外の迂回路となる道路で狭い箇所の拡幅工事は考えているのか。
- ・ 利用性の変化により交通量が増加した場合の影響は考慮されているのか。
- ・ 観光資源の利活用については、地域の方々と話をしながら、将来像を考えていく必要がある。

○その他

- ・ 今回、質問時間が十分ではなかったため、次回の委員会で今回の内容に関する質疑の時間を設ける。

○今後の予定

- ・ 次回委員会は、2月9日（月）同会場にて開催する。